

【めむろ未来ミーティング日程 10】

令和5年1月13日(金)

13:30～14:30

高岩地域福祉館

(対象:高岩区、中島区、西芽室区)

■参加者 6人

■芽室町 町長、副町長、教育長、環境土木課長、農林課長、政策推進課長補佐

■記録 今森

■対応・検討が必要な事項

- ①LINE 公式アカウントの PR について(政策推進課)
- ②不法投棄通報システムの要望について(環境土木課、政策推進課)
- ③空き家対策について(都市経営課)
- ④子ども 110 番の旗の更新について(環境土木課)

1 開会

2 副町長挨拶

3 町からの説明事項

資料1 公共施設等再配置構想

資料2 まちなか再生の取り組み

資料3 マイナンバーカード臨時窓口

資料4 芽室町 LINE 公式アカウント説明書

4 意見交換

【意見】

①LINE 公式アカウントについて。私の家族も登録しております、活用している。災害時の情報も入ってくるということで、とても便利なので農村地区の方にも、もっと宣伝しても良いと思う。

【町長】

災害時もそうだが、資料 8 ページにある道路損傷システムも皆さんに活用いただいている。LINE 経由で何線何号との情報をいただければ通報として対応する。

【環境土木課長】

写真を添付して送ることもできる。電話で連絡いただくより、具体的な損傷具合や損傷個所がこちらからも特定しやすい。

【意見】

承知した。とても良いシステムだと思うので、もっと農村地区にも PR してもらいたい。

【町長】

皆さんに活用いただけるよう、PR したい。

【質問】

道路の損傷について、どのくらいの酷さだったら直してもらえるのか。ちょっとした損傷でも連絡した方が良いのか。

【環境土木課長】

大きなもの、危険度が高く緊急対応が必要と思われるものは電話通報いただいた方が良いかもしれない。いつも通る道などで気になる道路の凹みや穴を発見された場合は、LINE の道路損傷システムからご連絡いただければ現地をパトロールする。役場も週に一度パトロールを行っている。しかし、どうしても気が付かない箇所や、損傷が一日で酷く悪化するようなケースもある。損傷を発見したい、通報しご協力いただきたい。

【意見】

中島地区はゴミの不法投棄が多い。中島大橋のところからゴミを投げ捨てていく人がいる。役場に回収してもらうなど対応いただいているが、②LINE で不法投棄されている場所を報告できるツールを作成いただきたい。

不法投棄は同じ人がしているようで、何度も注意して

いるものの改善されない。見られていないと思って投げていくようだが、春先の環境保全ではものすごい量のゴミが出てくる。

【町長】

不法投棄は犯罪。北伏古方面も、大空に上がっていくところなどは不法投棄の被害がひどい。

不法投棄を行った者を特定できれば摘発できる。即逮捕ということにはならないが、実際に警察からお咎めを受けた方もいる。常習犯は自分の身分が分かるようなものを捨てることはないが、車のナンバーが分かる写真などは証拠になる。

【意見】

去年だと思うが、ポイ捨て禁止の看板とダミーカメラを設置してはどうかと意見が出ていたと思う。抑止力になるのでは。

【町長】

来年度、数路線を対象に本物のカメラを設置しようと考えている。それを広げていく考え。町としても毅然とした対応が必要と考えている。

【意見】

ぜひお願いしたい。

【政策推進課長補佐】

不法投棄の通報については、道路損傷と同じような仕組みで入り口を作ることが可能と思われる。担当と協議し対応する。

【環境土木課長】

不法投棄の多い6か所ほどをモデル地区として設定し、路肩の草刈りを行った。ものを捨てると目立つようにし、捨てにくい環境を作ったところ、ポイ捨てが減るなど一定の効果がみられた。

また、町長からも話のあったカメラ設置の件。報道を通じて宣伝することで抑止力にも繋がると考えており、実際に車のナンバーが写れば警察にも提供できる。

【質問】

資料1ページの生活体験住宅というのは官舎のところだと思うが、実際に外から来られた方で移住者として定住された方はいるのか。

【町長】

住むところではなく、短期的に企業などで雇われた方が入居される住宅となっている。最大一年となっており、移住用の住宅ではない。町内の企業で季節雇用している会社や、農家の方なども使用している。生活体験住宅はこちらとは違い、管理者住宅が隣接しており、その前1軒は支援が必要なお子さんが放課後に過ごしてもらう施設にしている。初めは企業の利用も今一つだったが、最近は年間を通して貸してほしいとの打診も増えている。どちらかというと労働支援的な利用が増えている。

【質問】

マイナンバーカードについて。健康保険証として使えるまで登録した方が良いのか。芽室町の現状含めお聞きしたい。

【町長】

現在、芽室町の交付率は52.9%。十勝管内では7位で、1位の池田町が66%くらい。全道規模から見ると、十勝管内全体が低い傾向にある。

国の方でもマイナンバーカード交付率を各種補助金や地方交付税の額に反映させる方針を打ち出すなど、積極的な取得をすすめる動きがある。

取得は個人の自由であり強制するものではないが、今後は各種手続きでマイナンバーカードが使えるようになっていく見通しである。最終的には持っているメリットが大きくなると思われるため、できる方には早めの取得をお願いしたい。

【質問】

まちなか再生について。去年の未来ミーティングでもまちなか再生の話を聞いたが、ここまで1年間やってきて期待が持てそうだという部分をお聞きできれば。

【町長】

今の段階は、様々な要素を土俵に上げていただいた状態。これからは町の責任として、素案の中でどこに手を付けるのか、申し訳ないがここはできませんというような部分を整理しビジョンを作っていくことになる。

財源の方は確証がないため、はつきりした表現になつてないが、まちなかにこういう施設があるべきという所は整理しなくてはならないと思っている。私自身は、人が集まってくれる拠点というのはやはり必要と考えている。これは民間だけに任せきりということにはならない。

最近、まちなかに住宅やアパートが新築されている。これを町が止めたり買い取ったりすることはできないが、住宅もある程度入ってきた中でまちなかをどうするのか、考えなければならない。先ほどの説明では表現として分かりにくかったかもしれないが、ビジョンを作らないと何もできないというものではない。来年度予算では、例えば起業に対する支援金を考えている。新たに飲食店でも何でもやりたいという方がいれば支援していきたい。もう一つ、まちなかの範囲設定について。今のところは駅から芽室公園までを入れたエリアを想定している。あまり広げるわけにもいかないが、この間のまちフェスなどを見て、芽室公園の魅力がまちなかにも波及していくのが大事だと感じている。

【意見】

家族が買い出しに行くと、めむろーど、フクハラに人がいないという話を聞く。駅前に人の流れがないのは心配になってくる。

【町長】

今の段階で全く決まっていることではないが、例えばまちなかの宿泊施設。作業される方が泊まるような旅館はあるが、まちなかにはない。あまり大規模では部屋が埋まらないので、小規模な宿があればという考え方もある。また、農作物を加工するチャレンジができる施設。既にみのりーむはあるが、そういう

た加工施設、もちろん飲食店も良いと思う。

後は温浴施設への要望がある。鳳の舞跡地を活用するかは分からぬが、町としてどこまでやっていくのか、これから整理していく。

民間の方に力を出してほしいので、街中で何かやりたいという方を募集し、応援していきたい。

【意見】

③空き家対策について。第三者機関が動いていると思うが、春先に役場から連絡がきて、民間の工場で私の家の横の空き家を活用したいという打診があった。しかし、市街化調整区域であったため話が立ち消えてしまった。事前に把握してからそういった仲介をすべきではないか。

【町長】

こちらで事実関係を確認したい。移住対策などは別の組織でやっている。通常、役場が民対民の取引を仲介することはない。

建物を建てられない場所については、色分けされたデータで把握している。役場が絡む案件について、用途地域を確認しないというのは通常考えられない。

【意見】

春先、芽室公園のところの草が酷い状態で何か月も放置されていた。お盆前に一度刈っているが、町の入り口、町の顔なので定期的に短くないと恥ずかしいのでは。

【環境土木課長】

ご指摘の本通の箇所については道道であり、町で管理はしていないが、酷いときは帯広建設管理部に承諾を得て町で刈ったこともある。

北海道も予算をとて刈るようになっているが、町の方と時期が合わず、こちらで刈ったことがある。

【意見】

管轄が違うというのは理解するが、出入りしている一般の方から見れば関係ない。町の入り口が草で景観が悪くなっているのは対策した方が良い。

【町長】

管轄を勝手に超えて対応することはできない部分もあるが、今いただいたようなお話を北海道にお伝えしたり、草刈りの時期も夏まで放置しないよう要望したい。また、許可を得て町で刈るなどの対応も考える。町の入り口が汚いのは良くない。除雪も同様のことがいえるが、管轄が違うので全く関係ないというものではない。管理者と連携し対処したいと考えている。

【意見】

④子ども 110 番の旗について。ボロボロの状態でそのまま立っているのを見る。あれを新しくしたり、いま立っている場所が適切なのか確認してはどうか。10 年 20 年経っており、状況も変わっていると思う。

【町長】

正直、私も気になる場所はある。110 番の家を引き続きお引き受けいただけるかの再確認、旗の更新はしなくてはと思う。

【意見】

新嵐山について。年末に降雪があったが、その後は降雪もなく、あまりゲレンデが良くない状態のようだ。降雪機を使うような状態だと思う。

【副町長】

昨日・今日と温かくなる予報であり、第一リフトの降り口から第二リフトまでの尾根の部分、第二リフトから降りてくる部分が土が出ている状態だったため、緊急的に人工降雪機で雪を降らせる予定。現在、水が抜けるところまで貯めておく場所がなく、苦慮しているが、整理して対応している。

C コースは新たにスティックタイプの降雪機を付けた。風の影響はあるが、常時降らすよう今週初めに指示を出している。あとは気温次第の部分もあるが、何とか対応していきたい。

【町長】

本当はもう少し天然の雪が良いタイミングで降ってくれたら良いと思うが、苦慮している。ただ、お金をいただいて稼働しているため、安全面含めしっかり対応していきたい。

【意見】

交差点に雪山があり、見通しが悪い箇所がある。

【環境土木課長】

パトロールしながら、カット除雪で対応していきたい。

【意見】

農協青年部の若手から、資材・燃料が高騰しつゝ迫っている。補助事業がないか探して欲しいという話があったが、そうではない、何がしたいのか、考えた上で補助事業を探すべきである。同じことで役場に相談に行くかもしれない。

【農林課長】

おっしゃる通り、何か目的があつての財源。補助金ありきで考えては本末転倒。相談には対応する。

【町長】

相談をいただければ、合うよう企画することはできる。そういう面でのお手伝いは可能。

【意見】

ビートの補助金が下がる、国として減産に動いている中で、町から補助金が出るというのは矛盾しているのではとの声がある。情勢が厳しいなかで補助金が出るのはありがたくは思うが、町としてはどう考えているのか。

【農林課長】

ビートの状況は皆さんご存じのとおり、国としては生産を抑制する方向。理由としては砂糖の在庫が余っていることと、糖化調整金が赤字続きで破綻しかねないことが理由。出口がない以上入口が抑制される。

そこに町として助成金を出すというのは矛盾してい

るのではないかとの声もある。町としては増反というのは言えない。しかし地元に工場もあり、輪作体系上ゼロということにはならない。我々としては作付けを維持。適正な輪作体系を維持している方には助成金をという考え方。決して國の方針に反して増反ということではない。

國としては上限を示しているが、我々は下限も考えなくてはならない。55万トンを下回れば30万トンで良いのかと言われれば、そうではない。農協とも協議を続けている。来年度も助成金の案内があるが、そういった認識をお願いしたい。

【町長】

芽室町には2万町しかない。これが2万3000、5000とはならない。しかし、各作目で引っ張り合いが起こっていると感じている。例えば製菓業界から小豆をもっと作って欲しいと要請があったり、大豆・麦を国は伸ばそうとしてる。種薯を作るという話まで出ている。要望を全て聞いていては3万、4万町あっても足りない。長期的な視点で継続した営農を行うにはどうしたらよいのか、役場、農協とも協力し考えなくてはいけない。

麦も過作であり、これ以上増やし続けるわけにもいかない。輪作のためにはビートは必要。ビートの用途について、口ケット燃料として活用する研究があると聞いている。私どもとしては、作付面積が維持できれば用途が砂糖であっても燃料であっても良いと考えている。問題は品代で、同じようにならないと作り手がいなくなる。例えばその足りない部分を国に支援を要請したり、町でできることを考えたい。そうでもしなくて、一気に減反になるのではと危機感を持っている。

【意見】

製糖工場がなくなる事に危機感を持っている。十勝の輸送はあれを軸に動いているため、仮に工場が閉鎖されると全ての輸送コスト高騰し、立ちいかなくなってしまう。農業だけの問題ではなく、輸送業など含めた産業の問題と認識していただきたい。

【町長】

おっしゃる通り、他の産業にも波及する危機感がある。農水省の方では、輪作、十勝の農業の現況を分かっていない部分もあると感じている。

甜菜工場がある8自治体の協議会があるが、そこで農水省と意見交換の場を設けようという話が出ている。ただ単純にこちらを増やせ、減らせといわれても簡単にできるものではない、実態を訴えていきたい。



14:30 終了